

公益財団法人実務技能検定協会 令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I 事業の実施状況

本協会は、定款第3条および第4条に基づき、ビジネス実務に関する技能検定の実施により、ビジネス実務に対する学習意欲の喚起、職業教育の充実、および職業人の職業技能の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行った。

【公益目的事業（公1）】

1 技能検定の実施

(1) 令和3年度における秘書技能、ビジネス文書技能、ビジネス実務マナー技能およびサービス接遇実務の計4種目の技能検定を、計画通り実施した（「令和3年度技能審査実施状況表」参照）。その結果、志願者合計は187,024名となり、前年度比26.7%増（39,465名増）であった（前々年度比では、7.7%減、15,582名減）。

なお、秘書技能検定C B Tは、初めての年間を通しての実施となったが、志願者数12,853名（2級10,470名、3級2,383名）という結果であった。

(2) 新型コロナウイルスへの対応および令和4年2月の大雪により令和4年度に受験を持ち越した志願者数は、秘書技能1,145名、ビジネス文書技能20名、ビジネス実務マナー技能7名、サービス接遇実務130名（計1,302名）であった。

(3) 株式会社メタップスペイメントの個人情報流出懸念への対応

検定受験料のクレジットカード決済およびコンビニ決済で利用している決済サービス会社株式会社メタップスペイメント（以下、MP社）に不正アクセスがあり、個人情報流出懸念が発生し、これに対し次の対応を行った。

- ① ホームページに、本件に関する情報を掲載し、注意喚起を行った。
- ② 個人情報流出の懸念がある6,739名に対し、個別に報告と注意喚起のメールを送信した。
- ③ 個人情報流出が確認されたコンビニ決済の1名に対し、わび状を送った。

2 研究会・講習会の開催

(1) 秘書ビジネス実務教育担当初任者研究会（地方研究会）の実施

ビジネス系検定の普及・振興を目的として、ビジネス実務教育の担当初任者に対し、検定指導法等についての研究会を開催した。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため「オンライン」形式での実施とした。

5月14・15日 79名出席（東北、新潟・北陸、中部、大阪、沖縄を対象）

10月15・16日 71名出席（北海道、関東、中国・四国、九州を対象）

(2) 秘書検定・サービス接遇検定準1級面接試験実施担当者資格研修会の実施

秘書検定およびサービス接遇検定準1級面接試験実施担当者の能力保持を目的に、「オンライン」で研修会を実施した(令和2年度分として6月20日 関東地区 57名参加)。令和3年度は本来「資格研修会」を開催することになっていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「オンライン」で実施した(3月4・5・6・12日 175名)。

3 成績優秀者および成績優秀団体の表彰

令和3年度成績優秀者・優秀団体表彰式は、令和4年3月11日、アルカディア市ヶ谷(新宿区)において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年連続で開催を見合わせた(賞状・副賞は全件郵送した)。

各検定の表彰数

(個人)

検 定	文部科学大臣賞	優 秀 賞	日本秘書クラブ会長賞
秘書	2	54	40
ビジネス文書	2	29	21
ビジネス実務マナー	2	18	10
サービス接遇	2	89	14
合 計	8	190	85

(団体)

検 定	文部科学大臣賞	団体優秀賞	感謝状贈呈
秘書	3	54	100
ビジネス文書	3	7	10
ビジネス実務マナー	3	5	6
サービス接遇	3	30	26
合 計	12	96	142

【収益事業(収1)】

以下の通り、実務技能検定に関する問題著作権の提供等を行った。

- (1) 早稲田教育出版に対し、ビジネス系検定実問題著作権の提供およびビジネス系検定受験参考書の監修を行った。
- (2) (株)ユーキャンに対し、秘書検定実問題1回分およびサービス接遇検定実問題1回分の著作権を提供した。

以上